

瞳輝く三っ子

<http://www.higashiomi.ed.jp/kot3sho/>

私なりの善

鉄腕アトムは、悪と善を見分ける頭脳を持つ完全なロボットとして世に誕生しました。しかし登場まもなく、アトムが完全であるには、人間と同じく「悪い心」を持っていないなければならないはずだ、と敵役の男にいわれてしまいます。（手塚治虫漫画全集の『鉄腕アトム・電光人間の巻』）。

私たち人間の心には善と悪が同居していると言われます。おもてに現すかどうかは別として、よこしまな心を絶対に持たない人はいないのではないのでしょうか。善悪をともに持つのが人間です。正義を守るアトムが悪を知るには、悪の心を持たなければだめだという指摘もうなずけるところがあります。

何が善で、何が悪であるかなどと言うことはなかなか言い切れるものではありません。人間にとって絶対的な善や絶対的な悪はあるのでしょうか。人間のものさしで「善だ悪だ」と言い合っても無意味だと考えられます。なぜなら善悪は人それぞれの業縁や、生きているこの世でのさまざまな条件（縁）によっても変わるものだからです。

極端かもしれませんが、たとえば、人を何人も殺せば極悪人ですが、戦争で大勢の敵を打ち破れば英雄視されます。新聞やテレビでよく報道されますが、我が子を誰よりも愛しているはずなのに虐待して命を奪ってしまう母親や父親もいます。

私たち人間は本当の善悪のことは分からない不確かな存在と言われます。

しかし、自分の内面の悪を押さえることはできます。浄土真宗の開祖親鸞聖人は「業縁によっては、人間はどんなことでもしてしまう」と言っています。それなら、自分の業縁を知って、いま与えられている条件の中で、分からないなりに自分の考える善を目指すことが大切です。与えられている条件とは、いまの時代や社会、生活環境も含め、家族や自分を取り巻く人間関係、思いやりや愛情を注ぐ対象があるかないか、あるいは日常に楽しみを持っているか、などすべての自分を作っている関わりあいです。

善悪を見分けるといふアトムも、何度もだまされたり裏切られたりしながら、それでも人間の善や正義を信じて闘いました。自分の意志で「私なりの善」を生きることが求められているのではないのでしょうか。

あと、18日で小学校生活に区切りを迎える六年生の子ども達も自分なりの善を再確認し、生きることを心から願っています。

（参考文献『救いの言葉 親鸞』著者 宮下 真）

日	曜	3月主な行事予定
1	火	登校指導 委員会活動
2	水	卒業を祝う会(自由参観) ALT
3	木	学校安全の日 ALT 思い出遊び(ふれあいタイム)
4	金	体育館油拭き⑥6年
5	土	
6	日	
7	月	6年式練習開始 町別児童会⑤
8	火	
9	水	学校安全の日 ありがとう会⑥(6年と教職員)
10	木	在校生式練習開始 移動図書館 PTA役員引継
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	大掃除⑤ 油拭き⑥
15	火	登校指導
16	水	
17	木	前日準備 ALT 6年給食終了
18	金	卒業式 給食なし
19	土	
20	日	
21	月	春分の日
22	火	給食終了
23	水	PTA監査
24	木	修了式
25	金	春休み
26	土	
27	日	
28	月	
29	火	
30	水	
31	木	離任式13:30

朝学習も一年のしめくり



3年ろ組

4月から始めた火・木曜日(15分)の朝学習、算数科の基礎学力を身につけるために全校一斉に取り組んできました。今では、どの子も真剣に取り組めるようになりました。



1年い組



5年

明日は6年生の卒業を祝う会



1年



3年



2年



5年



4年

卒業を祝う会を明日行いますが、いろんな場面でお世話になった6年生に喜んでもらおうと、また、自分たちの成長を見せようとどの学年も精いっぱい練習してきました。写真はその一場面です。きっと、6年生の心に残る会になることと思います。6年生には、「湖三小の下級生が応援してくるんだ。」という思いを忘れず、中学校生活をがんばってほしいと思います。

よろしければ湖三小ホームページより
カラーでご覧ください。